文久三癸亥年六月浪士一件扣

文久三亥年六月十九日雲出川ニ而伊勢中家上原人々ニ出合
首尾好節助人三人ニ而赤堀孝兵衛并弟張之助并合名候
是孫助ニ而討赤堀文細井且郡猪口楢崎兵右衛門請取候
右外合戦使者相果兵衛家来々赤堀取給仕候松本兵右衛門
之織方月仲其討安藤伊八郎近其屋安藤内之段荒木孫兵衛
御赤堀之手家兵衛近々家仲間赤堀平兵衛甚太郎
手之後孫助殺前取兵衛西迄之赤堀平兵衛ニ而 聖兵衛

筆用ニ成候ニ付請之取扱向ニ而も相見ヘ候者ハ召抱候
并養生儀ハ都而薩摩之取計ニ而其方ニ而令承知候趣
天朝之御恩を受候ニ付居候者共通詞ニ而致談候
其通詞之儀ハ合差候ハ、日本之通詞相立申候者
乍恐右使者共天朝之御事ニ付取計候
其他儀ニ而此様之義ニ付御心得ニ而候
中山王之使者一礼仕候ハ、此段御書状出来

調所殿ニも先年以来段々御趣意之趣相伺候
何事も其様之取計ニ而候様ニ存候得共
其方役筋之者も此文之趣ニ而相心得可申候
書写四人連而右者共儀言語通シ兼候ニ付天朝之
如其趣ニ而一礼調印之趣ニ付候ハ、相済候
呉候者一礼調印取候而相済候上ニ而通達候事
以下諸事ハ申上候ニ付御心得ニ而御通達被成

尚又旅人赤穂領之者文字所之運上之通り遣し候ハヽ右者
当領之内家主方ニ而縁組一同致之上御引取可申候夏返し
其旅人旅籠銭請取候而済方ニ而其節金子差出シ候兼而相定不
三ヶ年之内ニ相済候様證文相認金子ヲ相渡以来猶又證文取置
吟味之上右請合之者金子之儀元利相揃證文相違無之様
可申付證文之通金子相渡証人相違無之候
取引之儀相心得候得共猶又御吟味之上御用之節ハ可申上候

保長様より本紙ニ而金子請取候ニ付右之通證文
右ハ書面之通少も相違無之候此證文也と差上申候
右之二人之名前ニ而并為取替置候上ニ而実名并行書と
書加之書面之通金子請取申候書面請合ニ相違無之書
右證 但し本紙ヲ控とし裏紙ニ書と申
借用證文之事
一金拾両也 右者拙者請取之候処相違無之

當春幕府之沼之上國中一決可致處因循姑息之
役人共兩年之間空敷相費 天朝之御旨を失ひ
國之恥辱之段 日本武威衰弊の折から長嶋藩
根據能相立候處 兩夷軍艦亂入之由候得 長府藩
燒拂候 兵糧米奪取候而 村人數殆 天下
之有志を本と致候之慎之道并不立之徒に相集り候
等之淺之處 豪傑中小事も捨置 候間 申出奉存候處

前大事有之有志之者宜致置一戰死候て國恩ニ
報度之輩之御役人中に可申出之折柄

文久三年
癸亥六月

長君藩國士

五島萬嘯一
行春
馬

生塚二三郎
島

佛生寺流柳
立

一 金三百両也

表紙

集武鑑

一御書付 上書

一御書付 上書

一御書付 上書

一御書付 上書

一御書付 上書

一御書付 上書

一御書付 上書

文久三年亥六月十九日

[illegible]

[illegible]

出張[illegible]御一柳

出張二 [illegible]

[illegible]

佛生寺[illegible]

一金三百兩[illegible]

[illegible]

四人[illegible]

[illegible]

一金 三百兩也

[illegible]

三百年[illegible]

今般非常時ニ付　各様方尽忠報國之御精忠

年来依之候ニ付当分金子差出御用ニ立度申出候

併道献納仕候得ハ当業用ニ相成候ニ付某仕合甚奉存候

右様趣理一統御申出候件

文久三年癸亥六月十九日

大宮宮浮浪同

兵代

浮浪

平右衛門

勘五郎

武右衛門

〃　〃　〃　示

尽忠報國士様

右金子差出候付　町内年寄共七拾人ニ申付御取扱致候様

御出張所差出シ候ニ付別段仕候様申候

三人ニ而金子借之儀申談候ニ付　天誅を加へ

四条仕候ニ付本国町家ニ而首を晒し候ニ付弐人ハ

東へ壱人ハ其首方へ晒シ候ニ付川端ニ

二条新地ニ首晒候ニ付人ニ首を晒シ候

一人ハ本町上ル橋之下ニ　〇　或ハ其首を晒し候

一當町内ニ是迄より罷在候者内若年寄并町代ニ
請申付置候、此度猶又右町代ニ相成候旨相伝候
旨許可被申渡候、依之是迄合清閑寺方へ寄合之義内談候
由、當許可被下置候ニ付、此度御当町代白銀屋西村市兵衛ニ
此段年寄中へ通達候、西洞院下ル新町三丁目六人行
御当町代松屋源兵衛、右當町年寄喜兵衛へ右之段西村家
右候ニ付、壬生家等へ申達候人数、清閑寺方清閑寺家ニ

荒木宗家之家内諸事右伝奏家へ申立候由東坊城
此度野村雅楽助へ猶又右之趣申談、荒木家へ右之段申達
当許可之旨右候而、東方之御沙汰
望有之日ニ許可申候、年寄中へ差上、西尾能登守殿へ差出

清閑寺家書

一社家其外南禅寺家内九条殿へ人数差出候由此旨四年限
社家中宅依之京町八町目下村源蔵方へ浪人之屋

[illegible]人[illegible]義[illegible]倉[illegible]使[illegible]
[illegible]諸[illegible]倉[illegible]
[illegible]
同[illegible]倉[illegible]倉[illegible]使[illegible]
[illegible]
別[illegible]通[illegible]書[illegible]
[illegible]四人[illegible]別[illegible]義[illegible]
[illegible]

[illegible]倉[illegible]
[illegible]
[illegible]義[illegible]
[illegible]倉[illegible]
[illegible]
[illegible]倉[illegible]
[illegible]倉[illegible]
[illegible]
[illegible]通[illegible]書[illegible]
[illegible]
[illegible]倉[illegible]

[illegible]

文久三亥年六月十七日

御奉行様

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

候へ共ハ殿下御所縁等之上黒奥書仕候様
擬可申様被仰上候ニ付、此段被仰上候
置之書付之御掛合申聞候宅ヘ候ハ、自然左様之儀
尾州首尾殿下之御意付上向至極ト長谷川殿ニハ左京殿
何卒清閑寺様之御聞済被成候様殿下御沙汰之儀
可被成候、且又御内ニ而殿下之御意ニ付御差支之段
可有之候、河内之殿下清閑寺へ御断被仰付

殿下ゟ御所書付被遣了

御添書

一 私共異様商売仕来候処、享保十九寅年中相知
本等ハ人二万人之銭金ニ而賃貸共御座候得共
無之候ニ付、右之品々御取締之儀銭金子相調
此度御聞中御許書付下々銭貸之儀、下書相認候
右御書付之御取締ニ付、此段奉願上候以上

然ル所金子掛リ合ニ付又五郎方相済候書付ハ
然ル上ハ御願有之 御法度之儀相守可申候
手元ニ而相調候 御慈悲之御許容被成下候
何卒右始末御聞済被下置候ハヽ 御慈悲 被下置候様一同奉願上候
然ル上ハ 御慈悲ヲ以右始末御聞済被下置候様奉願上候
御尋ニ付乍恐以書付奉申上候 以上

亥六月 日

松原町 町役人
大久保源蔵 印

御奉行様

年寄 七左衛門 印
五人組 吉 七 印

御下知被仰付候ハヽ 右之趣相守可申候
然ル上ハ御慈悲ヲ以 [illegible] 被下置候様奉願上候
然ル上ハ [illegible] 御慈悲之 [illegible]

右就下丁丈緒長六尺余并立印尾廟之書申候
御免之納来年　様御鳥羽ニ以名前之名家ニ
当所高倉屋ニ住ス右縁ニ致候前取郡ニ出ス右ニ承
其上候所ゟ相違無御座候其御出来并御礼之右斯
一町役人伺ニ印形御尋ニ付候間上ニ生ニ酒売
鍛冶屋之名前ニ後も右相之御門人其方へ預ケ
増田代之紙場一郎七大倉並長川西右衛
御免　御判へ

御免書

一 證書　一通
一 札書　一通
一 御影書　一通

右御免下候ニ付後年御免之條之御免書
右之条者右候
寅六月廿二日

御奉行様

文政四巳年

年寄　七郎兵衛

立会　吉七

[illegible]

一　金　三百両　清酒屋徳

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

同清度　江戸飛脚人様　同巡礼都合

同旋方　長崎昌英様　[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

北村小兵衛様　[illegible]

久保七二郎様

御一件方御役所

右之通ニ訊問書付差上候前々日

六月廿五日朝松屋門兵衛様ゟ南之方ニ

三人殺害之上火ヲ付候是ハ安兵衛右一件之儀

ニ付人相書ヲ以御尋被仰付候得共相分不申

程なく二人請合之者共相分り候処

南之方へ参り候と申候得共出家相尋候

五人程ニ而相尋候得共行衛相知不申候

清蔵并仲間之者共金子並ニ取候者共出奔致候

所清蔵親類之者共申聞候所右之者共

惣兵衛方へ参候所五人之者共遂穿鑿候

心光寺ニ而御奉行所ニ葬り申候処寺

永代供養料銀壱枚寄附致候

右清蔵書付五人之者清蔵取扱清蔵書付別ニ有之

14
3157
105
(14)